



海外で注意が必要な感染症

- * 海外には、日本ではあまりみられない感染症がたくさんあります。海外旅行では、時差や気候の違いなどから、様々なストレスを受け、体の抵抗力が落ち、感染症にかかりやすくなります。
- * 事前に感染症の情報収集(裏面)を行い、より楽しい時間が過ごせるよう準備しましょう。



【話題の感染症】

<蚊が媒介する感染症>

■ ジカウイルス感染症

【流行地域】

中南米、アフリカ、東南アジアなど

【症状】

感染から2～12日(多くは2～7日)後に、軽度の発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛などが現れる。

※妊娠中にジカウイルスに感染するとお腹の中の赤ちゃんが小頭症などにかかる場合があります。

■ デング熱

【流行地域】

アジア、大洋州など

【症状】

感染から2～14日(通常3～7日)後に、発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹などが現れる。

※近年、日本では、フィリピン、インドネシア、マレーシア等に渡航歴のある患者が多く報告されています。



■ 麻しん

【流行地域】

世界各地(特にアジア、アフリカ)

【症状】

感染から10～12日後に、発熱、咳、鼻水などが現れる。一度解熱した後、39℃以上の高熱と発疹が出現する。

【予防】

ワクチン接種

※近年、日本では、インドネシアに渡航歴のある患者が多く報告されています。

感染対策の基本は「手洗い」と「うがい」です。



主な感染経路	予防のポイント
水や食べ物	生水やその水で作られた氷は避けましょう。生もの(肉や野菜、カットフルーツなど)の喫食を避け、肉や野菜等は十分に加熱しましょう。
蚊・昆虫	蚊などの虫に刺されないよう虫よけスプレーの使用や長袖・長ズボンを着用し、なるべく肌を露出しないようにしましょう。虫よけスプレーの効果の持続性は、蒸発、雨、発汗により低下するため、定期的に再塗布しましょう。
動物	接触を避ける。または接触後は「手洗い」や「うがい」を行いましょう。
ヒト	予防接種*や「手洗い」や「うがい」を行いましょう。
河川や湖沼	淡水や川での水遊びを控え、裸足で歩かないようにしましょう。

*予防接種について

入国時に予防接種証明書の提示が求められる国があります。また、予防接種の種類によっては、数回接種するものもありますので、早めに(できるだけ出発3か月以上前から)医療機関や検疫所で、接種するワクチンの種類と接種日程の相談を行ってください。

症状が現れた時は、必ず事前に医療機関に連絡のうえ、速やかに受診しましょう。

医療機関を受診する際は、医師に以下のことを伝えましょう。

- 海外渡航歴 ● 喫食歴 ● 動物との接触歴 ● 蚊の刺咬歴 等

* 注意が必要な感染症

厚生労働省ホームページより出典

【一覧】海外で注意しなければいけない感染症(平成29年4月)

主な感染源	注意すべき病気	主な発生地域	滞在地域				予防方法		主な症状		
			リゾート 観光地	都市部	北の方 の田舎	森林・山岳	その他	予防接種	発熱	下痢	その他
食べ物 水	★ E型肝炎	世界各地	●	●	●	●	1. 1分火の通った食べ物を食べる 生水は食べない 1. 1分火の通った食べ物を食べる 生水は飲まないようにする 1. 十分火の通った食べ物を食べる 二次感染に注意する 1. こまめに手洗い 2. 十分火の通った食べ物を食べる	●		倦怠感、黄疸(体の皮膚や 白目が黄色くなる)	
	★ A型肝炎	世界各地(特に、水道設備が 整っていない地域)	●	●	●	●		●	倦怠感、黄疽(体の皮膚や 白目が黄色くなる)		
	★ 赤痢	世界各地(特に、水道設備が 整っていない地域)	●	●	●	●		●	●	と急に血便 激しい腹痛	
	★ 腸チフス	世界各地(特に、水道設備が 整っていない地域)	●	●	●	●		●	●	持続する高熱 倦怠感、比較的除熱 (再熱なのに比較的熱が低い)	
	★ コレラ	世界各地(特に、水道設備が 整っていない地域)	●	●	●	●		●	●	大量の水様便 嘔吐 下痢による脱水	
	★ ノロウイルス	世界各地	●	●	●	●		●	●	●	激しい嘔吐
	★ 消化管寄生虫症	世界各地		○	●						
事故・ケガ	★ 破傷風	世界各地	○	○	○	○	転倒やケガに注意する	●		数日以内にぐい、しゃべりにくい、 全身が硬くなる	
蚊	★ マラリア	熱帯・亜熱帯地域(アジア、ア フリカ、中南米)	○	○	●	●	夜間外出を控える 蚊帳の使用虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用	予防薬(飲み薬)	●	●	悪寒、冷汗 断続的発熱 急激な悪化
	★ デング熱	熱帯・亜熱帯地域(アジア、オ セアニア、アフリカ、中南米、 中東)	●	●	○	○			●	●	目の奥の痛み 筋肉痛、関節痛、発疹
	■ チクングニア熱	東南アジア、南アジア、アフリ カ、中南米	●	●	●	●			●	●	頭痛、筋肉痛、倦怠感、発疹、関節 痛、関節のはれ
	■ ジカウイルス感染症	アフリカ、東南アジア、南アジ ア、カリブ海諸島、中南米、太 平洋島嶼部	●	●	○	○	虫除けローションの着用 長袖・長ズボンの着用 室内での蚊取り線香の使用など		●	●	発熱、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦 怠感、頭痛
	■ 黄熱	アフリカ、中南米			●	●		●	●	●	頭痛、筋肉痛 悪寒、嘔吐
	■ ウエストナイル熱	北アメリカ ヨーロッパ南部 アフリカ、中東、アジア	●	●	●	●			●	●	頭痛、筋肉痛、倦怠感
	■ 日本脳炎	アジア		●	●	●		●	●	●	昏睡(痛みや刺激に反応しない)、 意識障害、痙攣
動物	■ 狂犬病	世界各地 (特にアジア、アフリカ)	◆	◆	◆	◆	動物に動物に近づかない 万が一咬傷を受けた場合は 犬等からの咬傷後、ワクチン等によ る治療	●	●	●	治療した動物咬傷の痛み 幻覚・意識 脱水・熱風症候
	■ 鳥インフルエンザ	アジア、アフリカ		●			畜舎、市産、動物園などの密接との 接触を避ける。手洗い、うがい		●	●	呼吸器症状
	■ MERS	中東	◆	○	○		動物との接触を避ける		●	●	呼吸器症状
人	★ 麻疹	世界各地 (特にアジア・アフリカ・欧州)	●	●	●		●(MRワクチン)	●	●	●	高熱 乳幼児では多い 咳、鼻水、結核充血、発疹
	★ 風しん	世界各地 (特にアジア・アフリカ)	●	●	●		●(MRワクチン)	●	●	●	発熱、リンパ節腫大
	■ ポリオ	南アジア・アフリカ等		○	○		手洗いの実施	●	●	●	麻痺
沼や湖河川	■ レプトスピラ症	世界各地		●				●	●	●	悪寒、頭痛、筋痛 腰痛、結核充血
	■ 住血吸虫症	アジア、アフリカ、中南米など			○	○	淡水(川や湖)での水遊びを控える		●	○	○

★：百毛検査をしなければいけない病気
■：遊動肉芽によって注意しなければいけない病気
●：感染する機会が多いので十分に注意
○：感染する機会が少ないが注意が必要
◆：動物と接触する機会が多い場合には十分に注意
●：ワクチンによる予防でできる
感染源は、感染経路、感染
予防法により、異なる場合があります。

●：よくみられる症状
○：ときにみられる症状

一覧を拡大して確認する場合のリンク先

* 感染症の情報収集先について

厚生労働省ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/>

厚生労働省検疫所(FORTH)
ホームページ
<http://www.forth.go.jp/>

外務省 海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

〈準備〉予防接種に関する情報
予防接種実施機関
<https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html>

海外で注意しなければならない感染症
(平成29年4月)【上表】
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/dl/travel-kansenshou_2017gw_00.pdf

ここに注意！海外渡航にあたって
<http://www.forth.go.jp/useful/attention/>

感染症関連情報
http://www2.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/pcinfectioninfo.asp#danger

